

平成 3 0 年 度

銚田市一般会計・特別会計歳入歳出決算  
及び各基金運用状況審査意見書

銚田市監査委員

銚監第814号

令和元年9月3日

銚田市長 岸田 一夫 殿

銚田市監査委員 伊藤 幸夫

銚田市監査委員 米川 宗司

平成30年度銚田市一般会計・特別会計歳入歳出決算及び  
各基金運用状況の審査意見書について

地方自治法第233条第2項及び同法第241条第5項の規定に基づき、平成30年度銚田市一般会計及び特別会計歳入歳出決算並びに各基金の運用状況について審査した結果、次のとおり意見書を提出します。

## 目 次

第1	審査の対象	1
第2	審査の期間	1
第3	審査の方法	1
第4	審査の結果	1
1	決算の概要	2
	(1) 決算規模	2
	(2) 執行状況	2
	(3) 一般会計における財政状況	2
2	一般会計	3
3	特別会計	6
	(1) 国民健康保険特別会計	6
	(2) 後期高齢者医療特別会計	8
	(3) 介護保険特別会計（保険事業勘定）	9
	(4) 介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）	11
	(5) 農業集落排水事業特別会計	12
	(6) 公共下水道事業特別会計	13
4	財産管理状況	14
5	基金運用状況	14
第5	審査の意見	15

### (注)

- 1 文中及び本文各表中の比率(%)は、原則として、小数点以下第2位を四捨五入している。
- 2 上記のように処理した結果、文中及び各表の数値と、その内容の累計値が一致しない場合や、他部局作成の資料等の数値と一致しない場合もある。
- 3 各表中の符号の用法は、次のとおりである。
  - (1) 「0.0」・・・該当数値はあるが、0.05%未満のもの。
  - (2) 「-」・・・該当数値なし、算出不能または無意味なもの。
  - (3) 「皆増」・・・年度比較で、前年度に数字がない場合
  - (4) 「皆減」・・・年度比較で、当年度に数字がない場合

## 平成30年度

### 銚田市一般会計・特別会計歳入歳出決算 及び各基金運用状況審査意見書

#### 第1 審査の対象

##### (1) 一般会計及び特別会計

1. 平成30年度銚田市一般会計歳入歳出決算
2. 平成30年度銚田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算
3. 平成30年度銚田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
4. 平成30年度銚田市介護保険特別会計歳入歳出決算
5. 平成30年度銚田市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算
6. 平成30年度銚田市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算
7. 平成30年度銚田市実質収支に関する調書
8. 平成30年度銚田市財産に関する調書

#### 第2 審査の期間

令和元年7月24日(水)から令和元年8月2日(金)まで

#### 第3 審査の方法

一般会計、特別会計の歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書及び各基金の運用状況を示す書類について、関係諸帳簿、証書類との計数照合を行い、関係職員の説明を求めるとともに、すでに実施した例月出納検査及び定期監査の状況をもとにして審査を行った。

#### 第4 審査の結果

審査に付された一般会計、特別会計の歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書及び各基金の運用状況を示す書類については関係法令に準拠して作成されており、関係諸帳簿、証書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。また、予算の執行及び関連する事務処理は適正に行われているものと認められた。

1 決算の概要

(1) 決算規模

平成30年度銚田市一般会計及び特別会計の総計決算額は、次のとおりである。

歳入総額 37,325,781,255 円

歳出総額 35,900,764,917 円

(単位：円，%)

区分		平成30年度	平成29年度	増減額	比率
歳入	一般会計	23,552,376,813	23,579,997,355	△ 27,620,542	△ 0.1
	特別会計	13,773,404,442	14,620,498,888	△ 847,094,446	△ 5.8
	合計	37,325,781,255	38,200,496,243	△ 874,714,988	△ 2.3
歳出	一般会計	22,353,636,950	21,523,877,519	829,759,431	3.9
	特別会計	13,547,127,967	14,377,113,945	△ 829,985,978	△ 5.8
	合計	35,900,764,917	35,900,991,464	△ 226,547	△ 0.0
形式収支	一般会計	1,198,739,863	2,056,119,836	△ 857,379,973	△ 41.7
	特別会計	226,276,475	243,384,943	△ 17,108,468	△ 7.0
	合計	1,425,016,338	2,299,504,779	△ 874,488,441	△ 38.0
翌年度へ繰り越すべき財源	一般会計	356,746,000	218,711,000	138,035,000	63.1
	特別会計	25,094,000	22,900,000	2,194,000	9.6
	合計	381,840,000	241,611,000	140,229,000	58.0
実質収支	一般会計	841,993,863	1,837,408,836	△ 995,414,973	△ 54.2
	特別会計	201,182,475	220,484,943	△ 19,302,468	△ 8.8
	合計	1,043,176,338	2,057,893,779	△ 1,014,717,441	△ 49.3

(2) 執行状況

一般会計及び特別会計の予算現額に対する歳入歳出額の割合は、両会計の合計で、

歳入 98.64% (一般会計 99.57% 特別会計 97.10%)

歳出 94.87% (一般会計 94.50% 特別会計 95.50%) となっている。

(3) 一般会計における財政状況

一般会計における財政状況は、第1表のとおりである。

第1表 一般会計における財政状況

区分 \ 年度	平成30年度	平成29年度
財政力指数	0.452	0.442
経常収支比率 (%)	89.7	88.4
実質公債費比率 (%)	7.9	7.4
単年度収支 (円)	△995,414,000	394,098,000
実質単年度収支 (円)	△470,850,000	350,563,000

## 2 一般会計

一般会計の科目別歳入状況は、第2表のとおりである。

第2表 科目別歳入状況

(単位：円，%)

区 分	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入済額 (前年度)	増減率	C/A	C/B
1 市 税	4,972,816,000	5,481,130,152	5,206,220,741	5,044,933,484	3.2	104.7	95.0
2 地方譲与税	270,000,000	283,635,000	283,635,000	280,580,000	1.1	105.1	100.0
3 利子割交付金	5,000,000	7,692,000	7,692,000	7,217,000	6.6	153.8	100.0
4 配当割交付金	17,000,000	17,657,000	17,657,000	21,993,000	△ 19.7	103.9	100.0
5 株式等譲渡所得割交付金	12,000,000	15,352,000	15,352,000	21,971,000	△ 30.1	127.9	100.0
6 地方消費税交付金	740,000,000	788,793,000	788,793,000	731,024,000	7.9	106.6	100.0
7 ゴルフ場利用税交付金	20,000,000	26,296,767	26,296,767	23,208,013	13.3	131.5	100.0
8 自動車取得税交付金	50,000,000	77,955,000	77,955,000	76,644,000	1.7	155.9	100.0
9 地方特例交付金	23,453,000	23,453,000	23,453,000	20,149,000	16.4	100.0	100.0
10 地方交付税	6,266,330,000	6,508,487,000	6,508,487,000	6,799,741,000	△ 4.3	103.9	100.0
11 交通安全対策特別交付金	5,000,000	5,065,000	5,065,000	5,355,000	△ 5.4	101.3	100.0
12 分担金及び負担金	178,873,000	195,532,563	186,779,263	199,430,241	△ 6.3	104.4	95.5
13 使用料及び手数料	147,735,000	191,801,638	155,032,975	156,823,506	△ 1.1	104.9	80.8
14 国庫支出金	3,612,760,000	3,517,500,565	3,517,500,565	3,342,538,905	5.2	97.4	100.0
15 県支出金	1,520,058,000	1,461,156,913	1,461,156,913	1,636,019,084	△ 10.7	96.1	100.0
16 財産収入	29,500,000	25,840,754	25,804,074	34,214,303	△ 24.6	87.5	99.9
17 寄附金	50,001,000	51,190,668	51,190,668	78,942,002	△ 35.2	102.4	100.0
18 繰入金	501,169,000	313,095,192	313,095,192	519,840,571	△ 39.8	62.5	100.0
19 繰越金	2,056,119,000	2,056,119,836	2,056,119,836	2,123,929,521	△ 3.2	100.0	100.0
20 諸収入	458,509,000	498,144,418	470,890,819	440,943,725	6.8	102.7	94.5
21 市債	2,718,938,000	2,354,200,000	2,354,200,000	2,014,500,000	16.9	86.6	100.0
合 計	23,655,261,000	23,900,098,466	23,552,376,813	23,579,997,355	△ 0.1	99.6	98.5

一般会計の科目別歳出状況は、第3表のとおりである。

第3表 科目別歳出状況

(単位：円，%)

区 分	予算現額 A	支出済額 B	支出済額 (前年度)	増減率	翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C	執行率 B/A
1 議会費	167,506,000	165,238,261	158,524,742	4.2	0	2,267,739	98.6
2 総務費	1,654,412,000	1,579,855,204	1,529,975,544	3.3	5,389,000	69,167,796	95.5
3 民生費	7,610,033,000	7,331,937,615	7,127,678,318	2.9	4,622,000	273,473,385	96.3
4 衛生費	2,148,923,000	2,075,890,721	1,944,306,158	6.8	11,780,000	61,252,279	96.6
5 農林水産業費	748,882,000	709,509,679	906,850,129	△ 21.8	5,076,000	34,296,321	94.7
6 商工費	173,513,000	163,153,689	197,021,345	△ 17.2	0	10,359,311	94.0
7 土木費	2,055,850,000	1,626,567,280	1,372,576,535	18.5	385,386,000	43,896,720	79.1
8 消防費	1,174,618,000	1,158,063,963	1,140,348,329	1.6	1,637,000	14,917,037	98.6
9 教育費	4,543,040,000	4,188,839,329	3,707,319,309	13.0	262,618,000	91,582,671	92.2
10 災害復旧費	2,000	0	0	—	0	2,000	0.0
11 公債費	2,330,961,000	2,324,323,103	2,401,382,306	△ 3.2	0	6,637,897	99.7
12 諸支出費	1,035,891,000	1,030,258,106	1,037,894,804	△ 0.7	0	5,632,894	99.5
13 予備費	11,630,000	0	0	—	0	11,630,000	0.0
合 計	23,655,261,000	22,353,636,950	21,523,877,519	3.9	676,508,000	625,116,050	94.5

市税の内訳は、第4表のとおりである。

第4表 市税の内訳

(単位：円，%)

区 分	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納欠損額 D	収入未済額 B-C-D	収入率 C/B
市 民 税	2,182,209,000	2,407,653,111	2,318,347,374	19,635,311	69,670,426	96.3
固定資産税	2,205,669,000	2,444,644,681	2,282,765,429	52,094,158	109,785,094	93.4
軽自動車税	160,108,000	192,699,330	168,974,908	3,290,225	20,434,197	87.7
たばこ税	375,705,000	385,320,530	385,320,530	0	0	100.0
入湯税	49,125,000	50,812,500	50,812,500	0	0	100.0
合 計	4,972,816,000	5,481,130,152	5,206,220,741	75,019,694	199,889,717	95.0

市税の収納状況は、第5表のとおりである。

第5表 市税の収納状況

(単位：円，%)

区 分		調定額 B	収入済額 C	不納欠損額 D	収入未済額 B-C-D	収入率 C/B
30 年度	現年課税分	5,251,453,390	5,141,282,371	18,344,166	91,826,853	97.9
	滞納繰越分	229,676,762	64,938,370	56,675,528	108,062,864	28.3
	合 計	5,481,130,152	5,206,220,741	75,019,694	199,889,717	95.0
29 年度	現年課税分	5,080,968,445	4,977,305,452	12,928,804	90,734,189	98.0
	滞納繰越分	280,671,122	67,628,032	74,024,823	139,018,267	24.1
	合 計	5,361,639,567	5,044,933,484	86,953,627	229,752,456	94.1



### 3 特別会計

#### (1) 国民健康保険特別会計

国民健康保険特別会計における決算総額は歳入7,527,727,202円、歳出7,508,586,249円、形式収支、実質収支はともに19,140,953円の黒字である。

主な歳入は国民健康保険税2,034,112,445円、県支出金4,651,840,636円である。保険税収入は予算現額1,979,354,000円に対し調定額2,351,504,775円、収入済額2,034,112,445円、不納欠損額88,324,556円、収入未済額229,067,774円である。

主な歳出は保険給付費4,519,219,473円、国民健康保険事業費納付金（医療給付費分、後期高齢者支援金分等、介護納付金分）2,679,826,899円である。

国民健康保険特別会計の科目別歳入状況は、第6表のとおりである。

第6表 科目別歳入状況

(単位：円，%)

区 分	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入済額 (前年度)	増減率	C/A	C/B
1 国民健康保険税	1,979,354,000	2,351,504,775	2,034,112,445	1,988,827,574	2.3	102.8	86.5
2 一部負担金	2,000	0	0	0	-	0.0	0.0
3 使用料及び手数料	1,287,000	1,435,502	1,435,502	1,457,660	△ 1.5	111.5	100.0
4 国庫支出金	3,000	371,000	371,000	2,064,781,733	△ 100.0	12366.7	100.0
療養給付費等交付金	0	0	0	64,843,122	皆減	-	-
前期高齢者交付金	0	0	0	1,225,129,943	皆減	-	-
5 県支出金	4,866,405,000	4,651,840,636	4,651,840,636	446,061,742	942.9	95.6	100.0
共同事業交付金	0	0	0	2,095,828,058	皆減	-	-
6 財産収入	18,000	16,250	16,250	10,299	57.8	90.3	100.0
7 繰入金	864,465,000	808,453,362	808,453,362	637,518,360	26.8	93.5	100.0
8 繰越金	10,159,000	10,157,336	10,157,336	5,294,299	91.9	100.0	100.0
9 諸収入	29,290,000	27,677,651	21,340,671	34,943,793	△ 38.9	72.9	77.1
合 計	7,750,983,000	7,851,456,512	7,527,727,202	8,564,696,583	△ 12.1	97.1	95.9

国民健康保険特別会計の科目別歳出状況は、第7表のとおりである。

第7表 科目別歳出状況

(単位：円，%)

区 分	予 算 現 額 A	支 出 済 額 B	支 出 済 額 (前年度)	増減率	翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C	執行率 B/A
1 総 務 費	126,833,000	123,380,734	117,085,602	5.4	0	3,452,266	97.3
2 保 険 給 付 費	4,741,638,000	4,519,219,473	4,604,548,558	△ 1.9	0	222,418,527	95.3
後期高齢者支援金等	0	0	1,130,869,681	皆減	—	—	—
前期高齢者支援金等	0	0	4,173,002	皆減	—	—	—
老人保健拠出金	0	0	22,568	皆減	—	—	—
介 護 納 付 金	0	0	480,156,748	皆減	—	—	—
3 国民健康保険事業費納付金	2,679,830,000	2,679,826,899	0	皆増	0	3,101	100.0
4 共 同 事 業 拠 出 金	2,000	546	2,081,276,362	△ 100.0	0	1,454	27.3
5 保 健 事 業 費	64,581,000	57,196,218	64,328,412	△ 11.1	0	7,384,782	88.6
6 基 金 積 立 金	5,096,000	5,094,855	2,657,435	91.7	0	1,145	100.0
7 公 債 費	1,000	0	0	—	0	1,000	0.0
8 諸 支 出 金	125,488,000	123,867,524	69,420,879	78.4	0	1,620,476	98.7
9 予 備 費	7,514,000	0	0	—	0	7,514,000	0.0
合 計	7,750,983,000	7,508,586,249	8,554,539,247	△ 12.2	0	242,396,751	96.9

国民健康保険税の収納状況は、第8表のとおりである。

第8表 国民健康保険税の収納状況

(単位：円，%)

区 分	調 定 額 B	収 入 済 額 C	不 納 欠 損 額 D	収 入 未 済 額 B-C-D	収 入 率 C/B	
30 年 度	現年課税分	2,090,682,300	1,947,404,617	20,595,057	122,682,626	93.1
	滞納繰越分	260,822,475	86,707,828	67,729,499	106,385,148	33.2
	合 計	2,351,504,775	2,034,112,445	88,324,556	229,067,774	86.5
29 年 度	現年課税分	2,040,071,300	1,898,901,576	17,977,396	123,192,328	93.1
	滞納繰越分	303,272,165	89,925,998	73,540,680	139,805,487	29.7
	合 計	2,343,343,465	1,988,827,574	91,518,076	262,997,815	84.9

(2) 後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療特別会計における決算総額は歳入522,947,519円、歳出515,362,831円、形式収支、実質収支ともに7,584,688円の黒字である。

主な歳入は保険料358,573,320円、繰入金141,770,637円である。

主な歳出は後期高齢者医療広域連合納付金483,529,000円である。

後期高齢者医療特別会計の科目別歳入状況は、第9表のとおりである。

第9表 科目別歳入状況

(単位：円，%)

区 分	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入済額 (前年度)	増減率	C/A	C/B
1 保 険 料	348,985,000	365,834,853	358,573,320	329,652,098	8.8	102.7	98.0
2 使用料及び手数料	144,000	142,810	142,810	147,880	△ 3.4	99.2	100.0
3 後期高齢者医療広域連合支出金	8,823,000	8,114,736	8,114,736	8,192,690	△ 1.0	92.0	100.0
4 繰 入 金	144,572,000	141,770,637	141,770,637	141,257,843	0.4	98.1	100.0
5 諸 収 入	1,633,000	1,056,104	1,056,104	2,721,411	△ 61.2	64.7	100.0
6 繰 越 金	13,290,000	13,289,912	13,289,912	9,338,524	42.3	100.0	100.0
合 計	517,447,000	530,209,052	522,947,519	491,310,446	6.4	101.1	98.6

後期高齢者医療特別会計の科目別歳出状況は、第10表のとおりである。

第10表 科目別歳出状況

(単位：円，%)

区 分	予算現額 A	支出済額 B	支出済額 (前年度)	増減率	翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C	執行率 B/A
1 総 務 費	23,064,000	22,452,284	21,229,742	5.8	0	611,716	97.3
2 保 険 事 業 費	8,412,000	7,797,684	7,276,792	7.2	0	614,316	92.7
3 後期高齢者医療広域連合会納付金	483,529,000	483,529,000	446,809,000	8.2	0	0	100.0
4 諸 支 出 金	2,142,000	1,583,863	2,705,000	△ 41.4	0	558,137	73.9
5 予 備 費	300,000	0	0	—	0	300,000	0.0
合 計	517,447,000	515,362,831	478,020,534	7.8	0	2,084,169	99.6

(3)介護保険特別会計（保険事業勘定）

介護保険特別会計（保険事業勘定）における決算総額は歳入4,822,234,137円、歳出4,679,236,135円、形式収支、実質収支はともに142,998,002円の黒字である。

主な歳入は支払基金交付金1,161,401,115円、国庫支出金1,028,387,892円、介護保険料1,043,045,926円である。保険料収入は予算現額990,409,000円に対し、調定額1,096,056,794円、収入済額1,043,045,926円、不納欠損額11,852,544円、収入未済額41,158,324円である。

主な歳出は保険給付費4,252,771,194円、総務費159,621,553円である。

介護保険特別会計（保険事業勘定）の科目別歳入状況は、第11表のとおりである。

第11表 科目別歳入状況

(単位：円、%)

区 分	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入済額 (前年度)	増減率	C/A	C/B
1 保 険 料	990,409,000	1,096,056,794	1,043,045,926	978,571,001	6.6	105.3	95.2
2 使用料及び手数料	219,000	233,613	233,613	250,232	△ 6.6	106.7	100.0
3 国 庫 支 出 金	1,042,586,000	1,028,387,892	1,028,387,892	1,028,026,725	0.0	98.6	100.0
4 支払基金交付金	1,197,779,000	1,161,401,115	1,161,401,115	1,193,894,730	△ 2.7	97.0	100.0
5 県 支 出 金	677,266,000	670,669,762	670,669,762	671,940,475	△ 0.2	99.0	100.0
6 財 産 収 入	200,000	199,004	199,004	220,477	△ 9.7	99.5	100.0
7 繰 入 金	738,259,000	738,466,783	738,466,783	712,370,763	3.7	100.0	100.0
8 繰 越 金	178,323,000	178,322,004	178,322,004	117,515,884	51.7	100.0	100.0
9 諸 収 入	239,000	1,508,038	1,508,038	427,002	253.2	631.0	100.0
合 計	4,825,280,000	4,875,245,005	4,822,234,137	4,703,217,289	2.5	99.9	98.9

介護保険特別会計（保険事業勘定）の科目別歳出状況は、第12表のとおりである。

第12表 科目別歳出状況

(単位：円，%)

区 分	予算現額 A	支出済額 B	支出済額 (前年度)	増減率	翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C	執行率 B/A
1 総 務 費	165,060,000	159,621,553	143,632,472	11.1	0	5,438,447	96.7
2 保 険 給 付 費	4,378,212,000	4,252,771,194	4,184,475,303	1.6	0	125,440,806	97.1
3 財政安定化基金拠出金	1,000	0	0	—	0	1,000	0.0
4 保 健 福 祉 事 業 費	100,000	0	0	—	0	100,000	0.0
5 地 域 支 援 事 業 費	100,153,000	87,283,963	74,567,545	17.1	0	12,869,037	87.2
6 基 金 積 立 金	80,783,000	80,782,739	75,897,552	6.4	0	261	100.0
7 公 債 費	1,000	0	0	—	0	1,000	0.0
8 諸 支 出 金	100,551,000	98,776,686	46,322,413	113.2	0	1,774,314	98.2
9 予 備 費	419,000	0	0	—	0	419,000	0.0
合 計	4,825,280,000	4,679,236,135	4,524,895,285	3.4	0	146,043,865	97.0

介護保険料の収納状況は、第13表のとおりである。

第13表 介護保険料の収納状況

(単位：円，%)

区 分	調 定 額 B	収 入 済 額 C	不 納 欠 損 額 D	収 入 未 済 額 B-C-D	収 入 率 C/B	
30 年 度	現年課税分	1,054,581,106	1,036,365,340	0	18,215,766	98.3
	滞納繰越分	41,475,688	6,680,586	11,852,544	22,942,558	16.1
	合 計	1,096,056,794	1,043,045,926	11,852,544	41,158,324	95.2
29 年 度	現年課税分	992,405,778	971,307,429	0	21,098,349	97.9
	滞納繰越分	45,202,626	7,263,572	18,342,951	19,596,103	16.1
	合 計	1,037,608,404	978,571,001	18,342,951	40,694,452	94.3

(4) 介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）

介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）における決算総額は歳入9,813,983円、歳出7,971,500円、形式収支、実質収支はともに1,842,483円の黒字である。

介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）の科目別歳入状況は、第14表のとおりである。

第14表 科目別歳入状況

(単位：円，%)

区 分	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入済額 (前年度)	増減率	C/A	C/B
1 サービス収入	8,187,000	7,302,200	7,302,200	8,277,300	△ 11.8	89.2	100.0
2 繰越金	2,512,000	2,511,783	2,511,783	1,870,763	34.3	100.0	100.0
3 繰入金	0	0	0	1,063,000	皆減	—	—
合 計	10,699,000	9,813,983	9,813,983	11,211,063	△ 12.5	91.7	100.0

介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）の科目別歳出状況は、第15表のとおりである。

第15表 科目別歳出状況

(単位：円，%)

区 分	予算現額 A	支出済額 B	支出済額 (前年度)	増減率	翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C	執行率 B/A
1 サービス事業費	8,187,000	5,459,717	6,828,517	△ 20.0	0	2,727,283	66.7
2 諸支出金	2,512,000	2,511,783	1,870,763	34.3	0	217	100.0
合 計	10,699,000	7,971,500	8,699,280	△ 8.4	0	2,727,500	74.5

(5) 農業集落排水事業特別会計

農業集落排水事業特別会計における決算総額は歳入220,661,762円、歳出213,156,022円、形式収支、実質収支はともに7,505,740円の黒字である。

主な歳入は使用料及び手数料25,246,526円、県支出金20,058,820円、繰入金158,381,000円である。主な歳出は農業集落排水事業費81,269,740円、公債費98,333,926円である。

農業集落排水事業特別会計の科目別歳入状況は、第16表のとおりである。

第16表 科目別歳入状況

(単位：円，%)

区 分	予算現額 A	調 定 額 B	収入済額 C	収入済額 (前年度)	増減率	C/A	C/B
1 分担金及び負担金	1,747,000	9,632,500	3,570,500	17,781,000	△ 79.9	204.4	37.1
2 使用料及び手数料	24,677,000	26,148,578	25,246,526	24,292,011	3.9	102.3	96.6
3 県 支 出 金	20,375,000	20,058,820	20,058,820	32,255,920	△ 37.8	98.4	100.0
4 財 産 収 入	1,023,000	561,205	561,205	959,144	△ 41.5	54.9	100.0
5 繰 入 金	158,381,000	158,381,000	158,381,000	152,394,000	3.9	100.0	100.0
6 繰 越 金	12,837,000	12,836,151	12,836,151	13,686,296	△ 6.2	100.0	100.0
7 諸 収 入	5,000	7,560	7,560	8,889,668	△ 99.9	151.2	100.0
合 計	219,045,000	227,625,814	220,661,762	250,258,039	△ 11.8	100.7	96.9

農業集落排水事業特別会計の科目別歳出状況は、第17表のとおりである。

第17表 科目別歳出状況

(単位：円，%)

区 分	予算現額 A	支出済額 B	支出済額 (前年度)	増減率	翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C	執行率 B/A
1 農業集落排水事業費	86,148,000	81,269,740	80,477,404	1.0	0	4,878,260	94.3
2 公 債 費	98,335,000	98,333,926	93,034,188	5.7	0	1,074	100.0
3 諸 支 出 金	33,562,000	33,552,356	63,910,296	△ 47.5	0	9,644	100.0
4 予 備 費	1,000,000	0	0	—	0	1,000,000	—
合 計	219,045,000	213,156,022	237,421,888	△ 10.2	0	5,888,978	97.3

(6) 公共下水道事業特別会計

公共下水道事業特別会計における決算総額は歳入670,019,839円、歳出622,815,230円、形式収支は47,204,609円、実質収支は22,110,609円の黒字である。

主な歳入は国庫支出金90,000,000円、繰入金184,165,000円、市債301,600,000円である。

主な歳出は公共下水道事業費467,179,846円、公債費99,643,866円である。

公共下水道事業特別会計の科目別歳入状況は、第18表のとおりである。

第18表 科目別歳入状況

(単位：円，%)

区 分	予算現額 A	調 定 額 B	収入済額 C	収入済額 (前年度)	増減率	C/A	C/B
1 分担金及び負担金	25,437,000	30,752,000	26,667,000	88,954,924	△ 70.0	104.8	86.7
2 使用料及び手数料	20,021,000	21,895,569	21,476,557	18,846,170	14.0	107.3	98.1
3 国庫支出金	112,000,000	90,000,000	90,000,000	79,276,600	13.5	80.4	100.0
4 県 支 出 金	9,680,000	7,328,000	7,328,000	2,848,000	157.3	75.7	100.0
5 繰 入 金	184,165,000	184,165,000	184,165,000	111,814,000	64.7	100.0	100.0
6 繰 越 金	26,268,000	26,267,757	26,267,757	28,444,893	△ 7.7	100.0	100.0
7 諸 収 入	5,004,000	12,515,525	12,515,525	23,720,881	△ 47.2	250.1	100.0
8 市 債	479,000,000	301,600,000	301,600,000	245,900,000	22.7	63.0	100.0
合 計	861,575,000	674,523,851	670,019,839	599,805,468	11.7	77.8	99.3

公共下水道事業特別会計の科目別歳出状況は、第19表のとおりである。

第19表 科目別歳出状況

(単位：円，%)

区 分	予算現額 A	支出済額 B	支出済額 (前年度)	増減率	翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C	執行率 B/A
1 公共下水道事業費	694,274,000	467,179,846	426,207,141	9.6	164,694,000	62,400,154	67.3
2 維 持 費	57,503,000	52,623,761	45,497,069	15.7	0	4,879,239	91.5
3 公 債 費	105,430,000	99,643,866	78,370,608	27.1	0	5,786,134	94.5
4 諸 支 出 金	3,368,000	3,367,757	23,462,893	△ 85.6	0	243	100.0
5 予 備 費	1,000,000	0	0	—	0	1,000,000	0.0
合 計	861,575,000	622,815,230	573,537,711	8.6	164,694,000	74,065,770	72.3



#### 4 財産管理状況

市有財産は、公有財産、物品、債権及び基金に大別され、それぞれ適正に処理されている。出資による権利も出資証書により台帳と照合確認した。今後もより一層適正な財産管理に努めるよう要望する。

#### 5 基金運用状況

基金運用の状況は、第20表のとおりである。

第20表 基金等運用状況

(単位：円)

区 分		前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高	
現 金 預 金	財 政 調 整 基 金	5,305,953,332	524,563,808	5,830,517,140	
	減 債 基 金	1,255,745,572	11,518,630	1,267,264,202	
	公 共 施 設 整 備 基 金	5,984,338,050	259,622,077	6,243,960,127	
	ふるさと創生事業基金	769,548,945	△ 6,265,688	763,283,257	
	地 域 づ く り 基 金	2,075,328,469	0	2,075,328,469	
	ま ち づ く り 基 金	33,417,648	△ 17,850,854	15,566,794	
	地 域 防 災 基 金	57,284,795	△ 1,000,000	56,284,795	
	地 域 福 祉 基 金	7,713,672	771	7,714,443	
	地域雇用創出推進基金	250,412,724	△ 8,224,547	242,188,177	
	スカイタウン団地施設基金	20,337,504	22,371	20,359,875	
	特定防衛施設周辺整備 調整交付金事業基金	47,443,000	△ 31,000,000	16,443,000	
	子 育 て 支 援 基 金	544,110,868	△ 24,401,645	519,709,223	
	再編関連訓練移転等 交付金事業基金	0	46,180,000	46,180,000	
	石上福祉資金	普通預金	2,916,157	241,029	3,157,186
		貸付金	1,616,000	△ 241,000	1,375,000
	貸付基金	合計	4,532,157	29	4,532,186
	土 地 開 発 基 金	483,902,074	532,300	484,434,374	
	収 入 印 紙 等 購 買 基 金	普通預金	0	3,173,200	3,173,200
		収入印紙・茨城県 収入証紙	0	1,826,800	1,826,800
		合計	0	5,000,000	5,000,000
特 別 会 計	国民健康保険支払準備基金	14,443,711	5,094,855	19,538,566	
	介護給付費準備基金	180,914,239	80,782,739	261,696,978	
	農業集落排水事業債減債基金	578,526,923	1,716,205	580,243,128	
	高 額 療 養 費 貸 付 基 金	普通預金	6,492,000	106,000	6,598,000
		貸付金	508,000	△ 106,000	402,000
		合計	7,000,000	0	7,000,000
合 計		17,620,953,683	846,291,051	18,467,244,734	

## 第5 審査の意見

平成30年度一般会計の決算状況は、歳入決算額235億5,237万7千円、歳出決算額223億5,363万7千円で、前年度と比較すると歳入は0.1%減少し、歳出は3.9%増加している。歳入歳出差引額(形式収支)は11億9,874万円の黒字で、翌年度に繰越すべき財源3億5,674万6千円を差し引いた実質収支は、8億4,199万4千円の黒字となった。なお、平成30年度の単年度収支は9億9,541万4千円の赤字、実質単年度収支は4億7,085万円の赤字となった。

主に歳入では、市債3億3,970万円(16.9%)、国庫支出金1億7,496万円2千円(5.2%)、市税1億6,128万7千円(3.2%)が前年度に比べ増加し、一方で地方交付税2億9,125万4千円(4.3%)、繰入金2億674万5千円(39.8%)、県支出金1億7,486万2千円(10.7%)が前年度に比べ減少となった。

市税の状況については、たばこ税が470万5千円(1.2%)減少したものの、市民税7,738万9千円(3.5%)、固定資産税8,290万7千円(3.8%)、軽自動車税587万6千円(3.6%)増加したことから、収入済額は52億622万1千円となり、前年度に比べ1億6,128万7千円(3.2%)増加し、歳入に占める割合は22.1%となっている。

なお、市税の収納率は95.0%で前年度より0.9ポイント増加している。収入未済額は1億9,989万円となり、前年度と比べ2,986万3千円(13.0%)減少している。このうち、平成30年度課税分の収納率は97.9%で、前年度より0.1ポイント減少し、滞納繰越分の収納率は28.3%で前年度より4.2ポイント増加した。また、不納欠損額は7,502万円となり、前年度と比べ1,193万4千円(13.7%)減少している。

科目別の歳出では、主に教育費が41億8,883万9千円で前年度に比較して4億8,152万円(13.0%)、土木費が16億2,656万7千円で前年度に比較して2億5,399万1千円(18.5%)、民生費が73億3,193万8千円で前年度に比較して2億425万9千円(2.9%)増加した。一方農林水産業費が7億951万円で前年度に比較して1億9,734万円(21.8%)、公債費が23億2,432万3千円で前年度に比較して7,706万円(3.2%)、商工費が1億6,315万4千円で前年度に比較して3,386万8千円(17.2%)減少している。

次に特別会計全体における決算状況は、歳入決算額137億7,340万4千円、歳出決算額135億4,712万8千円で、歳入歳出差引額(形式収支)は、2億2,627万6千円であり、翌年に繰越すべき財源2,509万4千円を差し引いた実質収支は2億118万2千円の黒字となっている。

この中で、国民健康保険特別会計の状況をみると、実質収支は、1,914万1千円の黒字となっている。国民健康保険税の収納率は86.5%で前年度より1.6ポイント増加している。収入未済額は2億2,906万8千円となり、前年度と比べ3,393万円(12.9%)減少している。不納欠損額は前年度と比較すると319万4千円(3.5%)減少し、8,832万5千円となった。平成30年度においては、持続可能な医療保険制度の構築を目的とした国民健康保険法の改正により、都道府県が国保財政の運営主体になったことに伴い、国民健康保険特別会計は、歳入

歳出ともに大幅な減額になった。しかしながら、引き続き収支の均衡を図る取り組みを行い、一般会計からの繰出金抑制に努められたい。

介護保険特別会計の実質収支は、1億4,299万8千円で、保険料の収納率は95.2%で前年度より0.9ポイント増加、保険料調定額が5.6%増加、収入済額が6,447万5千円増加した。収入未済額は4,115万8千円となり、前年度と比較して46万4千円(1.1%)増加している。不納欠損額は前年度と比較すると649万円(35.4%)減少し、1,185万3千円となった。介護給付費準備基金については、8,078万3千円(44.7%)増加している。

農業集落排水事業特別会計、公共下水道事業特別会計においては、施設の維持管理費が増加傾向にあり、財政基盤の強化を図る観点からも、引き続き、供用開始区域における接続率向上の取り組みを行うとともに受益者負担金や使用料などの財源確保が図られるよう推進されたい。

市税、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、介護保険料の収納については、ともに、担当課において様々な対策を講じられたことから、前年度と同水準あるいは改善されており、関係部課の努力を評価するものである。しかしながら、本市においても高齢化が進行しており、今後各特別会計においても医療費抑制のための予防事業の強化を図られたい。

また、歳出において、予算不足から流用がなされているが、引き続き、流用額を上回る不用額が生じている科目がないよう、予算の流用については、年度中の見通しや事業間での調整ができるか十分精査のうえ、対処されたい。

本市の財政指標をみると、財政力指数は0.452で前年度と比べ0.01ポイント増加し、実質公債費比率は7.9%で前年度と比べ0.5ポイント増加した。将来負担比率は前年度と同様0.0%であった。これらの指数は、数値としては良好であるが、今後の数値の上昇には留意する必要がある。一方、経常収支比率は89.7%で、1.3ポイント増加しており、財政硬直化の観点からも経常的経費の抑制に努められたい。

さらに、一般会計及び特別会計に属する基金については、8億4,629万1千円増加し、平成30年度末残高が184億6,724万5千円となっており、今後基金の有効活用を十分検討されたい。

平成30年度は、市内2校目の統合小学校として銚田南小学校の竣工、銚田南中学校、大洋中学校の空調設備工事などのハード面での整備、さらに、小学校における英語科の授業を2年前倒しの実施、オーストラリアへの中学生の派遣などの新規事業を含め教育環境の充実が図られており、今後市の将来を担う人材のための事業が展開されたことは評価したい。

また、人口減少対策事業として、県外の移住希望者に対する情報提供、地域おこし協力隊員の採用などによる移住・定住の促進及び未婚の若者に対する出会いの場の創出、新婚家庭に対する経済的支援などの事業が展開されているが、平成30年度の出生数が229人と衝撃的な状況であり、本市の少子高齢化の進行を鑑み、全庁的に人口減少対策のより一層の充実を図られたい。

さらに、平成30年度からは、子育てギフト贈呈事業、子育てカフェ開催事業、産前産後サ

ポート事業などの子育て支援事業にも積極的な取り組みが図られている。また、農林水産省から公表される市町村別農業産出額において、銚田市は全国第3位であり、これは、生産者の経営努力や生産の向上、関係各位がこれまで継続して行ってきた本市農作物のブランド化の推進、販売力の強化、情報の積極的な発信といった努力の賜物であると思われる。今後も、付加価値向上など積極的な事業展開を期待したい。

一方で、うまかっぺフェスタについては、平成30年度に初めて中心市街地で開催したが、その効果等を十分検証した上で、今後の事業展開に活かされたい。また、各施設において老朽化に伴う修繕経費が増大してきており、銚田市公共施設等総合管理計画に基づく各施設の個別施設計画の策定後には、類似施設の統合など公共施設の適正配置を検討する必要がある。さらに、銚田市公立学校施設再編計画に基づく、統合小学校整備により閉校となった小学校跡地の有効活用については、「銚田市学校跡地利用基本方針」に沿って、効率・効果的な行財政運営を図り、民間活用のあり方を含め引き続き検討されたい。

なお、小学校統合による財政負担の軽減について、実績を継続的に検証していくことも重要である。また、各種計画を策定した上で、策定後の進行管理を十分に行うことで効果的な事業実施に努められたい。

各特別会計に対する繰出金の抑制は引き続き課題であることから、徹底した事務改善を図りつつ、適切な収入確保に努められたい。さらに、銚田市健康づくり財団などの指定管理者に対する委託料が増加傾向にあることから、経費削減及び収益確保が喫緊の課題であり、引き続き、施設の管理運営に対する経営努力を促す指導を適切に行う必要がある。

また、定期監査の際に触れたが、多様化する事案へ対応するために、専門的な知識を持った経験豊富な非常勤嘱託員、臨時職員等の採用を検討し、事務職員への負担軽減を図るとともに市民サービス向上に寄与されたい。

最後に、市の財政を取り巻く環境は、地方交付税の合併算定替期間が終了し、平成28年度から令和2年度にかけての段階的な縮減期間に入った。このような状況も踏まえ、財政基盤の強化を図る観点から、自主財源である税や使用料等の確保には万全を期するとともに、施策を実施するうえでは、引き続き国庫支出金、県支出金などの特定財源を最大限に活用されたい。なお、自主財源の確保のためには、住み良いまちづくりによる定住人口の増加、地場産業及び商工業の振興、自然環境を活用した観光産業の創出等、独自性の高い政策を推進する必要があると思われる。

また、福祉や医療費に係る扶助費等の義務的経費が増加傾向にある中で、将来にわたり持続可能な行政運営を続けていくためには、引き続き、限られた財源のもと、財政の健全性、効率性を確保しつつ市政運営を図られたい。

以上